

東金市マスコットキャラクター
とうちー

とうがね 市議会だより

2026.11
No.
209



9月定例会で2027東金・九十九里 波乗りハーフマラソンのポロシャツを着用し、大会をPRしました！

CONTENTS

意見書の提出 …… P2
議会報告会 開催結果 …… P3
9月定例会 審議結果 …… P4
常任委員会 審査の概要 …… P5～P6
決算審査特別委員会 …… P6
議案等表決結果一覧 …… P7
一般質問 …… P8～P15
お知らせ等 …… P16

二次保健医療圏の再編に関する意見書を千葉県知事あてに提出しました

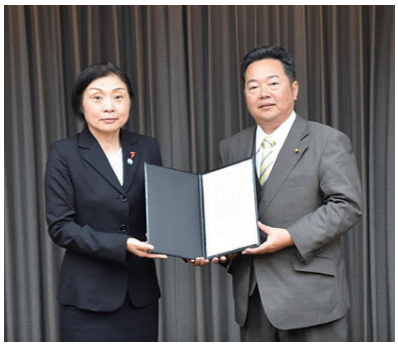


千葉県では現在、県内の二次保健医療圏について、現行の９区域を５区域から８区域まで再編する方向で検討が進められています。令和８年８月１２日に開催された第１回千葉県医療審議会では、二次保健医療圏の再編案が複数示され、現在の山武長生夷隅保健医療圏を分割する案が示されています。

二次保健医療圏は、地域住民の受療動向など、地域に必要な医療提供体制を確保するために設定されるべきものです。また、東千葉メディカルセンターは、これまで山武地域だけでなく、長生地域を含む広域的な救急医療拠点として重要な役割を果たしてきました。

これらを受け、東金市議会は、二次保健医療圏の再編に当たっては、山武地域と長生地域を１つの医療圏として維持する案とすること、また、東千葉メディカルセンターを地域の重要な救命救急拠点として位置付けることを千葉県に要望するため、令和８年第３回（９月）定例会において発議案として「山武地域等における二次保健医療圏の再編に関する意見書」を上程し、可決しました。

可決した意見書は、１０月５日に議長・副議長が千葉県庁に赴き、九十九里町議会議長・副議長とともに千葉県知事あてに提出しました。また、地元選出の阿井県議、石橋県議、實川県議にもご同席いただきました。



▲高梨副知事に意見書を提出する坂本議長



▲意見書の趣旨説明を行う坂本議長



▲副知事と意見交換を行いました

山武地域等における二次保健医療圏の再編に関する意見書

千葉県では現在、県内の二次保健医療圏について、現行の９区域を５区域から８区域まで再編する方向で検討が進められている。

令和８年８月１２日開催の第１回千葉県医療審議会において、県は二次保健医療圏の再編について複数の案を示しており、その中には、「山武長生地域（※芝山町、横芝光町、長柄町、長南町、睦沢町を除く）（以下「山武地域等」という）を一つの医療圏として維持する案４」が示されている。

二次保健医療圏は、単なる行政区域の組合せではなく、地域住民の受療動向、救急搬送の実態、医療資源の配置、交通事情等を踏まえ、地域に必要な医療提供体制を確保するために設定されるべきものである。

特に、東千葉メディカルセンターは、平成２６年４月１日に千葉県から山武長生夷隅保健医療圏の救命救急センターとして指定され、以後、同圏域における三次救急を担ってきた。

また、同センターは長生地域からも外来、入院及び救急の各面で相当数の患者を受け入れており、現に山武地域にとどまらない広域的な救急医療拠点として機能している。

加えて、山武地域等を一体で見た場合の人口は、将来においても国が目安として示す２０４０年時点の人口２０万人を相当程度上回る見込みであり、人口規模の観点からも両地域を一体の医療圏として維持することには十分な合理性がある。

このように、山武地域等における現在の救急医療体制は、東千葉メディカルセンターを重要な拠点として実質的に一体となって機能している。

したがって、今回示された複数の再編案のうち、山武地域と長生地域を一つの医療圏として維持する案４は、地域住民の受療動向、救急搬送の実態、人口規模及び医療へのアクセスを踏まえた、最も地域の実情に即した案であると考え、東金市議会は、千葉県に対し、地域住民の生命と健康を守る立場から、下記事項を強く要望するものである。

記

１．二次保健医療圏の再編に当たっては、山武地域と長生地域を一つの医療圏として維持する案４とすること。
２．東千葉メディカルセンターの設置経緯及び同センターが山武・長生地域において果たしてきた救命救急医療上の役割を十分に踏まえ、同センターを二次保健医療圏の再編に関わらず当該地域の重要な救命救急拠点として責任をもって位置付けること。

意見書とは

市の公益に関することについて、それが国や県の業務である場合、市だけでは解決できないことがあります。このような時、市議会は地方自治法第９９条に基づき、国会または関係行政庁に対して意見書を提出し、問題の解決を求めることができます。

議会報告会　城西国際大学の学生と意見交換！



１０月９日に議会報告会を開催し、城西国際大学の観光学部の学生の皆様にご参加いただきました。委員会の活動報告、質疑応答のほか、グループごとに分かれての意見交換や意見の発表を行いました。

常任委員会（総務・文教厚生・建設経済）の活動報告と活動内容等に関する質疑応答を行いました。







◀各常任委員会の委員長が委員会の活動報告と学生からの質問に答えました。

▶市政に関することのほか、普段の学生生活で気になっていることなどについて学生から質問が寄せられました。







「若者から見た東金の魅力と課題～また来たい・また住みたいまちにするには～」をテーマに、グループごとに意見交換を行いました。







◀現在の東金市のまちの魅力や今後の課題などについて挙がった意見を模造紙に書き込みました。

▶グループで挙がった意見をまとめ、議場に戻りグループごとに発表しました。







9月 定例会　議案等の審議結果

条例改正など１６議案を可決・同意、決算認定の７議案を継続審査

令和８年第３回東金市議会定例会は、９月２日から１８日までの１７日間の会期で開かれました。

本定例会では、議案２３件のうち、１６件と発議案１件が可決・同意され、令和７年度各会計決算認定の７件については、決算審査特別委員会を設置し、継続審査となりました。また、上程された請願１件は採択となりました。

一般質問では、代表質問を３会派３名、関連質問を６名、個人質問を６名が行い、市政全般についての議論が行われました。

９月定例会の日程

月　日	内　容
9月 2日(水)	会期の決定、議案・請願の上程 監査委員の意見報告 選挙管理委員会委員・補充員の選挙
4日(金) 8日(火)	一般質問
9日(水)	議案質疑、関係常任委員会付託 決算審査特別委員会の設置 決算審査特別委員会委員の選任 ・決算議案の付託
11日(金)	総務常任委員会
14日(月)	文教厚生常任委員会
15日(火)	建設経済常任委員会
18日(金)	各常任委員会報告、質疑・討論・採決 追加議案・発議案の上程、質疑・討論・採決

主な議案等の概要（抜粋）

第２号議案　東金市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について

嶺南幼稚園の園児数は近年減少傾向にあることから、在園児の保護者、嶺南地区区長及び移行先との協議の結果、令和８年度末をもって嶺南幼稚園を閉園し、民間の幼保連携型認定こども園の「東金国際こども園」に移行することで協議が整ったことから、条例の規定から「嶺南幼稚園」を削るものです。


令和８年度末をもって閉園となる嶺南幼稚園

第１９号議案　令和８年度東金市一般会計補正予算（第４号）について

●令和８年８月千葉豪雨により生じた被害への対応に関する経費を増額補正

千葉豪雨により住宅に大きな被害を受けた世帯に対する支援金を交付する「被災者生活再建支援事業」や、準半壊以上の被害を受けた住宅の応急修理を支援する「被災者住宅再建支援事業」の計上のほか、道路や農業用施設等の復旧に係る災害復旧費の増額補正を行いました。

● 議会を傍聴してみよう

市議会では本会議がどのように行われているかを市民の皆様が直接見たり、聴くことができるよう傍聴席を設けています。

本会議当日、市役所３階の議会事務局前で傍聴受付を行っております。受付で住所・氏名をご記入いただき、傍聴券をお受け取りください。どなたでも傍聴が可能です。

● 市役所１階ロビーでも本会議中継をご覧いただけます

本会議中継は市役所１階ロビーに設置されているテレビでもご覧いただけます。また、インターネット中継により、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。なお、過去の録画映像についても東金市ホームページよりご覧いただけます。

常任委員会 主な審査の概要

東金市議会では、「総務」「文教厚生」「建設経済」の3つの常任委員会を設置し、議案等の審査を行っています。

総務常任委員会

総務常任委員会は９月１１日に開催されました。委員会では、議案３件が審査され、全て原案どおり可決すべきものと決定されました。

第１号議案　東金市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について

問　各条例における今回の改正対象となる損害賠償に関する規定に該当する実例はあるか。

答　本市において該当する実例はない。

第５号議案　東金市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

問　今回の改正により、認可地縁団体に新たな事務負担は生じないか。

答　市が行う告示内容についての変更であり、認可地縁団体に新たな事務負担が生じるものではない。

第１４号議案　令和８年度東金市一般会計補正予算（第３号）について

問　学校建設費において一般財源が６００万円の減額となり、地方債が６００万円増額となった理由は。

答　東金中学校のバスケットゴールの修繕に係るものであり、緊急性があったことから予備費を充当し執行した。その後、適債性が認められたことから、地方債を充当し予備費の一般財源相当額を減額する処理をしたもの。

問　債務負担行為の補正における中学校給食調理業務委託の限度額について、前回との比較及び増額となった要因は。

答　前回と比べて７，６４１万９，０００円の増額となっており、近年の人件費の上昇及び物価高騰の影響によるもの。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は９月１４日に開催されました。委員会では、議案４件が審査され、全て原案どおり可決すべきものと決定されました。

第２号議案　東金市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について

問　嶺南幼稚園を閉園とした判断基準は。

答　明確な基準は設けていないが、園児数の減少と移行施設である東金国際こども園の状況を考慮して決定した。

第４号議案　東金市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

問　今回の改正によるメリットは何か。

答　これまでは、住所変更の際などに、出入国在留管理局の窓口と市区町村の窓口の両方で手続きを行う必要があったが、在留カードとマイナンバーカードが一体化することにより、出入国在留管理局の窓口で連動処理できるようになる。これにより、利用者が窓口を回る負担と行政側の事務負担の両方が軽減される。

第６号議案　工事の請負契約の締結について

問　資材の高騰などで工事費用が請負金額を上回った際は、どのように対応するのか。

答　契約約款で物価スライド条項を設けており、その定めにより対応する。

第１５号議案　令和８年東金市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）について

問　国県等支出金の返還について、過大交付となった要因は何か。

答　当初の見込みより介護給付費の伸びが小さかったことによるものであり、予防事業の推進による結果であると推測している。

常任委員会 主な審査の概要

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会は９月１５日に開催されました。委員会では、議案３件、請願１件が審査され、議案３件は原案どおり可決、請願１件は採択すべきものと決定されました。

第３号議案　東金市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定について

問　本条例における融資の種類及び融資限度額は。

答　融資の種類は、運転資金、設備資金、小規模事業資金、独立開業資金、創業支援資金の５種類である。融資限度額は、設備資金が２，０００万円以内であり、その他の資金は１，０００万円以内である。

第１６号議案　令和８年度東金市下水道事業会計補正予算（第１号）について

問　本管布設工事及びマンホールポンプ工事の概要は。

答　本管の布設工事は、建設予定地から既存の下水道管までの管渠を延長するもので、管渠の延長は３３２ｍである。また、マンホールポンプ設置工事については、建設予定地から下水の本管までが上り坂になっているため、マンホールポンプを設置し、排水を圧送する設備を設置するための工事である。

第１７号議案　市道路線の認定及び廃止について

問　本路線の完了見込みは。

答　令和１３年度から工事着工を予定しており、令和１８年度に完了見込みである。

請願第５号　八鶴湖周辺の環境整備等に関する請願

意見　要望事項が５つ挙げられているが、予算を拡充して計画的に進めてもらいたい。

意見　東金駅東口との同時並行という言葉が入っているので、駅を中心として活性化していく上で必要なこととして採択でよいと思う。

決算審査特別委員会について

第３回定例会では、令和７年度各会計決算議案（第７号議案～第１３号議案）の審査のため、決算審査特別委員会が設置されました。

なお、第４回定例会において、委員長より審査の経過と結果について報告された後、決算議案の採決が行われる予定です。

令和７年度各会計決算審査特別委員会

委員長	鳥海　翔平	
副委員長	宮沢　敬人	
委員	高科雄一郎	佐瀬　和隆
	桑田　豪	滝田　修
	中村　美恵	坂本　賀一

決算議案の審査の流れ

第３回定例会で提出された決算議案は、決算審査特別委員会で審査された後、次回第４回定例会で質疑・討論を経て、議会として最終的な意思決定が行われます。

第３回定例会	１０月２８日～３０日	第４回定例会
本会議	**決算審査特別委員会**	**本会議**
・決算議案の上程 ・決算審査特別委員会の設置、委員の選任 ・決算議案を委員会へ付託	・決算議案の審査・採決	・委員長報告 ・質疑・討論・採決

９月定例会
議案等表決結果一覧

※賛成＝○　反対＝×
※議長（坂本賀一議員）は議案等の表決に加わりません。
※会派名の略称は次のとおり。
「蒼」＝蒼政会　「志」＝志政会　「公」＝公明党　「み」＝新生みらい　「誠」＝誠至会
「立」＝立憲民主党　「共」＝日本共産党

議案番号		件名	議決結果	蒼 高科雄一郎	志 佐瀬和隆	蒼 桑田豪	公 滝田修	公 上田光子	立 西原晴美	み 鳥海翔平	蒼 村上大蔵	誠 保科勇	公 布施満明	志 中村美恵	志 宮沢敬人	志 伊藤博幸	蒼 坂本賀一	み 清宮利男	共 前田京子	蒼 石田明	志 塚瀬一夫	み 石﨑公一	蒼 宮山博	賛成
議案	1	東金市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	2	東金市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	18
	3	東金市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	4	東金市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	18
	5	東金市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	6	工事の請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	17
	7	令和７年度東金市一般会計決算の認定について	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－
	8	令和７年度東金市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－
	9	令和７年度東金市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－
	10	令和７年度東金市介護保険事業特別会計決算の認定について	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－
	11	令和７年度東金市病院事業特別会計決算の認定について	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－
	12	令和７年度東金市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－
	13	令和７年度東金市ガス事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	継続審査	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－
	14	令和８年度東金市一般会計補正予算（第３号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	15	令和８年度東金市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	16	令和８年度東金市下水道事業会計補正予算（第１号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	18
	17	市道路線の認定及び廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	18	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	19	令和８年度東金市一般会計補正予算（第４号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	20	令和８年度東金市ガス事業会計補正予算（第２号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	21	副市長の選任について	同意	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○		×	×	○	×	○	×	11
	22	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
	23	教育委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	16
請願	5	八鶴湖周辺の環境整備等に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19
発議案	1	山武地域等における二次保健医療圏の再編に関する意見書について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	17

市政に関する一般質問

９月定例会では１５人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁を抜粋し、要約したものを紹介します。
※申し合わせにより議長は質問を行いません。副議長・議会運営委員長は質問を控えることとなっています。
※ＱＲコードから一般質問の動画をご覧いただけます。

代表質問



道路側溝の浚渫（清掃）等で発生した泥等の処理について

志政会
佐瀬　和隆　議員

問　道路側溝の清掃などで発生した泥等の処理は、現状土嚢袋に入れ、一定の場所に集積されたものを市が回収しているが、集積した泥等を土嚢袋に詰める作業は、高齢化が進み若い担い手が不足している地域では様々な面において困難な状況に拍車がかかっている。

　このようなことからも、地域において実施された側溝清掃などにおいて発生した泥等の回収を、現状の土嚢袋に入れてからの回収から、仮置き場などに集積されている状態であれば市が回収するといった地域に寄り添った対応は可能か伺う。

答　地域の皆様に側溝清掃へ協力いただいていることについては、大変ありがたく感謝している。

一方で、高齢化などにより、側溝から取り除いた泥等を土嚢袋に詰める作業が負担となっているとの意見もいただいているため、土嚢袋に詰める作業が困難な場合には、ブルーシートなどで養生した場所に一旦集積していただき、ある程度水分が抜けた段階で市が回収するなどの方法もあるかと考える。

　今後についても、地域の皆様に引き続き協力をお願いしながら、地域の実情や現場の状況を踏まえ、対応していきたいと考えている。

その他の質問

◆求名駅バリアフリー整備事業の進捗について
◆ＤＸ・ペーパーレス化について　◆幼保再編事業について
◆学校給食センター建設工事の進捗状況について
◆市内フリースクールの現状について
◆森林環境譲与税のこれまでの活用状況及び今後の活用について　◆ＧＸの推進に係る本市の取組について

関連質問



防火対策について

志政会
宮沢　敬人　議員

問　全国において山林火災など大規模な火災が多く発生している中で、重要となってくるのは、消火活動に必要な消防水利であるが、源地区は少ないように感じている。先日、上布田区で発生した建物火災では、鎮火するまで何度も消防車両で最寄りの滝沢区の消火栓から水を汲み、運搬して消火活動を行ったとのことである。

　そこで、消防団の負担軽減のため、地下から水を吸い上げ、汲み上げた水を溜め込むようなポンプ式の防火水槽を整備してもらいたいと考えるが市の見解は。

答　上布田区で発生した建物火災は、夕方の発生から朝方まで鎮火せず、消防署員及び消防団員には長時間の消火活動を余儀なくされた状況であった。消防団においては、消火用水の供給作業、消火後の水利の復元作業など、心身ともに大きな負担であったとともに、地域防災の要であり、重要な組織と認識している。

　ポンプ式の防火水槽の整備については、消防団の負担軽減、地域住民の不安解消につながると考えるが、基準必要水量を確保できないおそれがある。今回の火災を受け、消防水利については、運用管理、設置場所、費用等を様々な視点から総合的に考えていきたい。

その他の質問

◆有害鳥獣の直近の捕獲実績と捕獲体制及び学校等周辺の安全確保と新たな担い手確保について

関連質問



地域医療の今後と市民を守る医療体制について

志政会
塚瀬　一夫　議員

問　今回の千葉県による医療圏の見直しは、２０４０年に向けた人口規模や入院医療の圏域内完結率等が重要な指標として示されている。人口減少が進む中、一定の広域化や医療機能の集約化等を進めていく必要性は理解しているが、医療圏の見直しは、人口規模だけでなく、救急医療体制や救急搬送の実態、そして市民が医療機関へアクセスしやすいかどうかという地域の実情を重視すべきと考えるが市長の認識を伺う。

また、医療圏の見直しに関し、千葉県に対して特に救急の観点から、市の考えを積極的に伝えていく考えはあるのか併せて見解を伺う。

答　千葉県による医療圏の見直しは２０４０年に向けた人口動向のほか、救急医療体制や市民のアクセスのしやすさを重視していくことが必要と認識している。

また、千葉県に対しては、本市の住民や地域の住民が安心して、継続して医療を受けられるよう、医療有識者等で構成される千葉県の審議会等の動向を注視しつつ、必要に応じて適宜対応していきたいと考えている。

代表質問



地区振興協議会の重要性と継続的支援について

蒼政会
村上　大蔵　議員

問　地区振興協議会は地域全体の運営を担う公式な組織であり、地区振興協議会長は市長から正式に委嘱を受けて活動を行っていると認識している。

昨今、希薄になりがちな地域コミュニティにおいて、行政とつなぐプラットフォームとして重要な共助システムである。また、子どもたちの安全と育成、地域貢献、防災・防犯、福祉活動など、「地域を支える公式組織」として住民自治振興に寄与していただいているが、組織の重要性と市としての継続支援について見解を伺う。

答　地区振興協議会は、区会を中心に各種団体が連携し、地域課題を共有しながら住民が主体となってまちづくりを進める組織であり、地域の発展に向けて地区全体で協力して取り組む役割を担っていることから重要な組織であると認識している。

支援については、各コミュニティセンターを活動の拠点施設とし、地域への人的・財政的支援に取り組んでいる。特に自治活動維持活性化交付金をはじめとする各種交付金については、継続を求める意見をいただいていることから、交付金の効果的な活用を促すとともに、持続可能な地域活動の仕組みづくりに向け、制度の継続的な運用に努めていきたいと考えている。

その他の質問

◆副市長の任期途中での退任について
◆政策調整監の役割について
◆基盤整備事業の進捗状況及び今後の展開について

市政に関する一般質問

関連質問



蒼政会
高科 雄一郎 議員

部活動の地域展開について

問 部活動の地域展開について、単なる「学校部活動の地域クラブへの置き換え」となりかねない。地域クラブへの参加が事実上の強制加入とならないために、どのように生徒の選択肢を確保していくのか。また、学校部活動の顧問である教職員が休日の地域クラブへ参加せざるを得ない状況が生じないよう地域人材の確保状況についても伺う。

さらに、生徒の活動の継続と選択肢拡大及び教職員の負担軽減という制度本来の目的を実現するため、今後どのように検証を行っていくのか併せて見解を伺う。

答 地域クラブへの加入は任意であり、加入の際には、加入申し込み等により意思確認した上で加入することとなる。教員が指導者として参加する場合についても任意である。地域人材の確保状況については、現時点で約２０団体が地域クラブとして中学生を受け入れる予定であり、人材確保の目途は立っている。

今後も平日は部活動を実施し、総合体育大会や新人大会等に参加し、生徒のスポーツ・文化活動の機会を確保するとともに、地域クラブの活動状況の把握や活動アンケートを実施し検証していく予定である。

その他の質問

◆産後の相談支援について
◆国旗掲揚の管理実態について

関連質問



蒼政会
桑田 豪 議員

汚水処理方式の現状と取組について

問 本市では、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽、集中処理浄化槽等、複数の汚水処理方式により生活排水を処理している。これらの整備の経緯や制度は異なるが、生活排水を適正に処理し、公共用水域の水質を保全するという共通の目的を持っている。しかし、処理方式の違いによって市の公費負担と市民の負担に格差が生じているのが現状であり、過度な格差が生じていないかという観点から、今後事業を横断的に比較、検証する必要があると考えるが市長の見解を伺う。

答 公共下水道、農業集落排水、浄化槽のいずれの汚水処理方式も、生活排水を適正に処理し、公共用水域の水質を保全するという共通の目的を持っている。それぞれの施設の整備された経緯や制度は異なるが、処理方式の違いにより公費負担と市民負担に一定の格差があることは市としても認識しているところである。将来にわたる適正な汚水処理の維持は重要であると捉えていることから、一定の格差については、費用対効果と公費負担の公平性という観点の下、今後、事業を横断的に比較、検証の必要があると考えている。

その他の質問

◆空き家税について
◆有害鳥獣の対応について

関連質問



東千葉メディカルセンターの今後の経営方針について

蒼政会
宮山　博　議員

問　東千葉メディカルセンター自身が経営改善に向け鋭意取り組んでいることは十分承知しているが、依然として厳しい状況が続いている。病院が担っている政策医療にかかる費用を含め、全てを病院自身の経営努力だけで解決することには限界がある。

より収益の上がる診療科を設置するなど、更なる経営改善を求めていくことと将来にわたり政策医療を維持していくことについて、どのように両立させていくのか見解を伺う。

答　法人の経営改善に向けた更なる取組の推進、政策的医療等を将来にわたり提供していくことについては、設立団体と法人が協議を重ね、評価委員会で審議の上、最終的に当市及び九十九里町の両議会の議決を経て策定した中期目標並びに同目標に基づき法人が作成した中期計画の推進によるべきものと捉えている。また、サービスの拡充と収益確保に向け、脳ドックの運用も法人で予定している。

本市としても、地域医療の確保といったことも視野に入れ、他の医療機関等との一層の連携と医療の役割分担を進め、引き続き同計画に基づく各施策の実現を支援していきたいと考えている。

代表質問



災害対応力を高める危機管理体制へ

新生みらい
鳥海　翔平　議員

問　災害対応には、専門的な知識や経験を持つ人材の育成と、その経験を組織全体で生かす仕組みが重要である。防災担当者研修や被災自治体への派遣などで得た知見を継承するとともに、大規模災害時には各部署の情報を集約し、部署を超えて調整できる体制が必要ではないか。外部の専門人材や危機管理監などの専門職の活用も含め、今後の危機管理体制の強化について伺う。

答　消防防災課には防災資格を有する職員を１人配置しており、また、被災自治体への応援派遣の経験を持つ現役の職員８人を各部署に配置している。危機管理に関する専門的な研修については、千葉県消防学校で開催される防災担当者研修や千葉県が開催する防災訓練等があり、計画的な研修による専門性の向上に努めている。実際の災害対応における課題や応援派遣で得た知見は重要であり、マニュアル等に反映し、組織として共有・継承し災害対応の精度を上げていきたいと考えている。また、他の機関で専門知識や災害対応経験を得た人材は貴重であり、専門的知識を有する人材の配置について、先進自治体の事例を調査研究していく予定である。

その他の質問

◆令和８年８月千葉豪雨における災害対応について
◆地域防災力の向上について
◆市役所周辺地域の公共施設最適化について
◆官民連携による公共施設整備について
◆にぎわい・交流拠点の創出について
◆地域クラブの今後の運営について
◆地域スポーツの推進について

市政に関する一般質問

関連質問



市内循環バスの利便性の向上について

新生みらい
石﨑　公一　議員

問　循環バスは地区内を一周する運行形態であるため、乗車時間が長くなり利用しづらいとの声もある。乗降者のいない停留所の廃止による乗車時間の短縮や逆回りのコースを設定、自由乗降区間を設けるなどの工夫が必要と考える。循環バスの利便性向上に向けた施策についての市の見解を伺う。

　また、東千葉メディカルセンターへの送迎車両の更なるサービス拡充に向けて、東金駅東口前の待合所等を乗降所に加えることも有効と考えるが市の考えは。

答　利用者から乗車時間が長く利用しづらいとの意見があることは認識している。昨年４月には豊成路線のルートを再編するなど運行の見直しを行っている。逆回り運行については、車両数や運転手の確保、全体のダイヤ調整等の課題があり、自由乗降についても交通量や安全確保の面で課題があることから、双方とも直ちに実施することは困難であると考えている。循環バスの利便性向上について、今後も利用状況や利用者の意見を踏まえつつ、各地区の循環バス推進委員会と協議を重ねながら、運行方法について検討していきたいと考えている。

　東千葉メディカルセンターの送迎車両における新たな乗車場所等の利便性の向上策については、今後の利用状況等を踏まえながら、関係機関と連携し検討していきたい。

個人質問



公共交通の地域連携について

公明党
上田　光子　議員

問　東千葉メディカルセンターへの公共交通は、通院しやすい体系になっているか疑問がある。中にはタクシーで行かざるを得ず交通費が負担となっている声もあることから現在の状況について伺う。

　また、乗合タクシーは市内全域で運行しているが、さんむ医療センターなど、市外の医療機関を利用するために乗り入れてほしいという要望もある。近隣市町の病院への乗合タクシーの乗り入れは検討しているか市の見解を伺う。

答　東千葉メディカルセンターへの公共交通は、成東駅・大網駅及び千葉駅からの路線バス・高速バスがあり、市内からのアクセスが可能となっているほか、乗合タクシーの目的地としても設定されている。また、外来診療日は法人により東金市役所から行き４便、帰り３便の無料送迎車両が運行されていることから、一定の利便性は確保されていると捉えている。

　乗合タクシーの市外運行については、地域の交通事業者の運行業務に影響を及ぼすおそれがあるため現段階で困難と認識しているが、第３次地域公共交通計画を策定する際のアンケート等においても多くの要望が寄せられており、地域公共交通計画の取組項目にも位置づけていることから、引き続き関係市町との協議を行っていきたいと考えている。

その他の質問

◆生命の安全教育について
◆物価高騰による修学旅行費用などの負担軽減について
◆学校給食について　◆市営住宅の現状と利用状況について
◆東金市公式ＬＩＮＥについて
◆トレーニングルームの活用について

個人質問



帯状疱疹ワクチンの任意接種の助成について

公明党
布施　満明　議員

問　予防接種法に基づく定期接種の対象者が６５歳以上ということだが、５０歳から帯状疱疹を発症する方が増えてくることから、令和８年の４月から県が任意接種を実施した市町村に半分の補助をするということで、５０歳から６４歳までの帯状疱疹ワクチンの任意接種について、その後どのような状況になっているのか。
　また、６５歳以上で今回接種の機会を逃してしまった方に対しての助成も検討してもらいたいと思うが、市の考えを伺う。

答　千葉県の補助制度の実施を受け、令和８年４月１日時点で県内３７市のうち、１６市が助成を実施しており、今年度内に開始する市は２市となる。近隣の山武郡市内では、横芝光町、芝山町で実施済みで、その他の市町については検討中としている。
　５０歳から６４歳までの帯状疱疹ワクチンの任意接種については、５０歳から発症する方が増えることから、２分の１が補助される千葉県による補助事業を活用し、令和９年度からの助成実施に向けて検討したいと考えている。また、６５歳以上の方については、法に基づく定期接種が実施されていることから、まずは定期接種について周知に努めていきたいと考えている。

その他の質問

◆消防団の現状と消防団アプリについて　◆市役所ＤＸにおける窓口改革及び今後の展望について　◆市役所周辺整備計画の進捗状況、策定に向けた課題及び今後のスケジュールについて　◆学校給食センターの進捗状況について　◆小学校の給食費無償化の仕組み、無償化による教職員の負担軽減及び無償化に伴う公会計化への移行について

個人質問



コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の導入について

誠至会
保科　勇　議員

問　コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会が設置された学校のことで、地域と学校が目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育む体制が作れるものと認識している。現在、東金市の各学校で運営されている学校運営懇談会から学校運営協議会に変更する背景と両者の違いや、学校運営協議会導入に当たっての課題について伺う。

答　この変更は、学校運営に対して地域社会がより積極的に関与することを促し、学校が地域の教育ニーズに応える役割を強化するために行うものである。学校運営懇談会が校長あるいは学校との意見交換の場であったのに対し、学校運営協議会は学校運営に対し協働参画する組織となる。また、権限についても学校運営協議会は承認・改善提案が可能となり、各委員に学校運営に携わる責任と権限が与えられることは学校懇談会との大きな違いである。導入に当たっての課題としては、学校運営協議会では、教育委員会が委員を任命するが、地域ごとに異なる事情の中、学校運営に責任と権限をもつ委員を適切に選出することが課題であると認識している。

その他の質問

◆東金駅周辺及び東金市役所周辺公共施設等の最適化と手法について
◆排水路維持管理の取組について
◆学校におけるウェルビーイングについて

市政に関する一般質問

個人質問



要介護認定の「認定待ち期間」における支援等について

立憲民主党
西原　晴美　議員

問　高齢者が初めて要介護認定を申請する場合、結果が出るまでに約１か月を要している。近隣や家族のサポート、経済的余裕がない方にとって、この「認定待ちの１か月間」は制度の隙間となり、生活困窮のリスクをはらんでいる。こうした要介護認定の結果待ちの方々に対する市のサポート体制について伺う。

　また、通院手段としてケアタクシー事業を利用している方からは予約が取りづらいといった声も聞いているが、現状や課題についての見解は。

答　要介護認定の結果を待っている間に介護保険サービスの利用が必要な方は、要介護認定申請日から介護保険サービスの暫定利用が可能である。引き続き、暫定利用の周知に努めるとともに、利用を希望する方には地域包括支援センターやケアマネジャーに相談するよう適切に案内していきたいと考えている。

　ケアタクシーの予約が取りづらい現状は把握しており、ドライバーの人材不足に加えて対象事業者が市内の２事業者と少ないことが要因である。この状況を改善するため、本年８月から対象事業者を市外を含めた一般タクシーや介護タクシー事業者まで拡充したところである。

その他の質問

◆日頃の見守り体制の現状について　◆２０４０年問題を見据えた体制づくりについて　◆女性相談員の配置状況及び相談支援体制について　◆居住サポート支援について　◆東千葉メディカルセンターの地域中核病院としての役割及び経営安定における市の見解について　◆欠食児童の現状と背景について　◆現在の食育の取組と給食センター開設後の食育の展開について　◆「エディブル・スクールヤード」の導入について　◆食品選定委員会等の設置に関する進捗状況について

個人質問



ペットの同行避難について

公明党
滝田　修　議員

問　大規模災害時の避難所におけるペットの同行避難の可否や想定される動物の種類、アレルギー配慮等のゾーニングについて伺う。

　また、市民から「市のホームページでペット関連情報が非常に探しづらい」との切実な声が寄せられている。制度やルールがあっても必要な時に届かなければ意味がないため、だれもが一目でわかる効果的な情報発信の強化を強く要望するが、現在のペット避難に関する周知はどのように行っているか。

答　ペットの同行避難は、避難所となる市内の小中学校において可能であり、対象はケージ等で管理できる動物を想定している。動物が苦手な方やアレルギーの方もいることから、避難者とペットの生活スペースを分けた同行避難としている。同室避難は、避難所の面積、避難者数、アレルギーや動物同士のトラブル等の課題があることから実現は難しいと考えている。

　ペットの災害避難への備えについてのリーフレットを作成し、餌や水、薬などの避難用品といった日頃からの心がけをホームページ上で公開しているほか、冊子等を環境保全課窓口へ設置し周知啓発を図っている。

その他の質問

◆市内循環バスの運行について
◆みのりの郷東金の整備について
◆有害鳥獣の減容化について

個人質問



防災行政無線戸別受信機を各家庭に再配布を

日本共産党
前田　京子　議員

問　災害時には「防災行政無線の放送が聞こえず、市からの情報が届かず非常に困った」と多くの方が「戸別受信機を配布してほしい」と訴えている。山武地域では東金市だけが戸別受信機を配布していない。内閣府消防庁は「スピーカーが聞こえない場合やスマートフォンをもたない高齢者等には戸別受信機は極めて重要」と推進している。戸別受信機の再配布について市長の見解を伺う。

答　戸別受信機について、周辺自治体で配布していることは認識しているが、戸別受信機を配布するよりも様々な手法で情報伝達が可能な防災メールやアプリ等で通知することが有効であると考えている。また、災害時にはテレビ等のメディアの活用や、スマートフォンを所有していない方に対しては、避難情報等架電サービスを活用することで情報を届けていきたいと考えていることから、戸別受信機の再配布は予定していない。

その他の質問

◆学校体育館空調設置の進捗状況及び断熱化対策について
◆東金中学校体育館の改修について
◆防災備蓄について
◆学校給食センターにおける給食配送計画、人員の配置及び災害時の対応について
◆千葉県における医療圏見直しによる東千葉メディカルセンター等への影響について
◆はり・きゅう・マッサージ等施術利用助成金の増額について

東金市議会議員　研修会

東金市議会は、８月３日に法政大学大学院公共政策研究科教授の白鳥　浩氏を講師としてお招きし、「地方議会の変化：コンプライアンス、ＳＮＳ」についての議員研修会を実施しました。

ＳＮＳによる選挙への影響、公職選挙法の改正、選挙違反の具体的な事例等について講演いただきました。





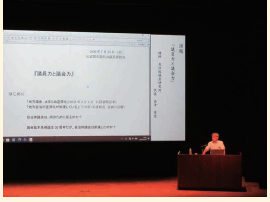
山武郡市議会議員　研修会

７月２４日に第６０回山武郡市議会議員研修会が山武市成東文化会館のぎくプラザで開催されました。

本市議会の坂本議長が開会のことば及び自治功労表彰・感謝状贈呈を行いました。

また、「議員力と議会力」について、自治体議会研究所代表　髙沖　秀宣氏による講演が行われました。





次回の定例会のお知らせ

●令和８年第４回定例会は、**12月１日（火）午前10時から開会**される予定です。
●請願・陳情の提出期限は、**11月20日（金）午後４時30分まで**です。

詳しくは議会事務局まで　TEL.0475-50-1181



インターネットで本会議を見よう

～スマートフォン、タブレット端末でも視聴できます～

傍聴に来られない方も本会議の映像をご覧いただけます。
また、後日「録画」による配信も行っています。

☆議会インターネット中継視聴方法☆

①東金市役所ホームページトップ画面の「市議会」をクリックする。
②市議会のページの「インターネット中継」をクリックする。

（議会中継ＨＰ　ＱＲコード）

※東金市役所のホームページアドレスは下記のとおり

http://www.city.togane.chiba.jp

「とうがね市議会だより」にLINEからアクセスできます

LINEの東金市公式アカウントで友達登録、プロフィール登録をすると、議会だよりの発行通知を受け取れます。

（登録用ＱＲ）

「とうがね市議会だより」をアプリ「マチイロ」で！

スマートフォンアプリ「マチイロ」でも閲覧が可能です。
「マチイロ」アプリとは、自治体が発行する広報紙や行政情報をスマートフォンやタブレットで閲覧することができるアプリです。

マチイロ　マチを好きになるアプリ

（閲覧用ＱＲ）

令和８年度議会報編集委員会

〈委　員　長〉　中村　美恵
〈副委員長〉　鳥海　翔平
〈委　　員〉　佐瀬　和隆　　桑田　　豪
　　上田　光子　　前田　京子

当編集委員会では「とうがね市議会だより」を通じて、議会活動の情報を発信し、市民の皆様に関心を持っていただけるよう紙面作りに励んでおります。
ぜひ議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。

とうがね市議会だより　No. 209
令和８年11月１日発行　東金市議会 議会報編集委員会
〒283-8511 千葉県東金市東岩崎１番地１
Tel.0475-50-1181　Fax.0475-50-1289

（議会 HP QR）

東金市議会　検索

